

# シナリオ 隠された真実

脚本製作者：Sieg\_Ribbon

難易度 ★★★☆☆

## シナリオの特徴

最後の戦いを目指すシナリオですが、マイナス13が入っているため、役職当てはかなり困難になると思われます。マイナスの友好無視は適度に使用して、主人公側に情報を与えていく方が良いゲームになると思います。プレイ時は初プレイの方が二人おられました。1ループ目は相談あり。2ループ目以降は時の狭間以外での相談なしプレイで、最後の戦いで2択を当てられ脚本家が敗北しました。

## 脚本家への指針

1ループ目：病院の事件を発生させ、入院患者（フレンド）を殺害。学生・少女や神社に暗躍をバラ撒き、主人公側に暗躍禁止の場所を絞らせず、病院に暗躍1、医者に不安2を何としても載せる。医者は最悪、不安1でも脚本家能力フェイズでミスリーダー能力で不安2にして事件を発生させる。また、都市の人物にはカードを置かず、主人公の目を他に向けさせ、リアルキラー（情報屋）を隠す。

2ループ目：入院患者の自殺。病院の事件が不発したなら、医者へのミスリーダー能力を使ってでも、自殺を発生させる。巫女（フレンド）の死亡など別の勝利条件を満たしているなら無理に発生させる必要はない。

3ループ目：時限爆弾（学校）の起動。神社がブラフと言うのは気づかれている頃、脚本家が病院にカードを置けば、必ず暗躍禁止をしてくるはず。その隙を突いて病院に暗躍+1、学校に暗躍+2を置き、時限爆弾を起動させる。

4ループ目：ブラフなし。医者を実リアルキラーに殺させず、全ての勝利条件を目指していく。全ループにおいて、医者が死亡している場合は保険の巫女（フレンド）にリアルキラーをぶつけていきましょう。

## 脚本家の勝利条件

- 1 学校に2つ以上の暗躍カウンターを置く  
巨大時限爆弾Xの存在
- 2 フレンドどちらかの殺害  
病院の事件、自殺、リアルキラーの能力
- 3 主人公の殺害  
病院の事件

## 非公開シート

ルールY	巨大時限爆弾Xの存在
ルールX1	マイナス13
ルールX2	潜む殺人鬼

人物	役職
男子学生	パーソン
女子学生	マイナス
お嬢様	ウィッチ
巫女	フレンド
刑事	マイナス
サラリーマン	パーソン
情報屋	リアルキラー
医者	ミスリーダー
入院患者	パーソン

日数	事件	犯人
2	不安拡大	お嬢様
3	邪気の汚染	男子学生
5	病院の事件	医者
7	自殺	入院患者

## 公開シート

ループ回数	4	1ループ日数	8
惨劇セット	Basic Tragedy		
使用マップ	(学校)	(神社)	(都市)
相談	可	可	不可

日数	事件予定
1	
2	不安拡大
3	邪気の汚染
4	
5	病院の事件
6	
7	自殺
8	
9	
10	